

第 2 3 回 生殖補助医療部会	資料 2 別紙 1
平成 15 年 2 月 6 日	

生殖補助医療技術についての意識調査 2003 速報版 単純集計

平成 15 年 2 月 6 日

平成 14 年度厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究

「生殖補助医療技術に対する国民の意識に関する研究」班

主任研究者 山縣然太郎（山梨大学医学部教授 保健学Ⅱ講座）

分担研究者 星 和彦（山梨大学医学部教授 産婦人科学講座）

平田修司（山梨大学医学部助教授 産婦人科学講座）

武田康久（山梨大学医学部助教授 保健学Ⅱ講座）

Q1 以下のAとBそれぞれ対立する考え方のうち、あなたのお考えはどちらにより近いですか。(1)～(9)のそれぞれについて、1～4のいずれか、ひとつを選んでください(○は1～4のうちひとつ)。
※上段は調査票のみ群、下段はリーフレット群

A	Aに近い	どちらかといえばAに近い	どちらかといえばBに近い	Bに近い	B
(1)やはり「男は仕事、女は家庭」を中心に生活するのが良い	1 13.1% (200) 10.8% (221)	2 37.9% (576) 39.9% (819)	3 29.2% (444) 31.1% (639)	4 19.8% (301) 18.2% (373)	仕事も家庭も男女、同じように行うのが良い
(2)結婚したら相手に満足できなくても離婚はすべきではない	1 11.4% (172) 7.0% (144)	2 37.4% (564) 39.0% (798)	3 36.1% (544) 39.5% (807)	4 15.1% (227) 14.5% (296)	結婚しても、相手に満足できないときは離婚すればよい
(3)女性は子どもを産んでこそ一人前だと思う	1 11.2% (170) 6.4% (130)	2 20.2% (305) 18.2% (371)	3 31.5% (477) 34.7% (710)	4 37.0% (560) 40.8% (833)	子どもを産まない生き方も女性の一人前の生き方だと思う
(4)結婚したら子どもを持つのがあたりまえだと思う	1 18.2% (276) 10.7% (220)	2 19.7% (299) 19.6% (402)	3 26.8% (407) 29.3% (599)	4 35.3% (535) 40.4% (826)	結婚しても、子どもを持つ、持たないは、個人の自由だと思う
(5)子どもがいない人生なんて考えられない	1 19.0% (286) 16.6% (339)	2 24.7% (373) 25.9% (530)	3 30.0% (452) 30.2% (618)	4 26.4% (398) 27.4% (560)	子どもがいないでも幸福な人生をおくれると思う
(6)血は水より濃し(親子関係は血のつながりが大切)	1 19.7% (296) 13.6% (277)	2 30.2% (455) 32.1% (655)	3 34.6% (520) 39.4% (804)	4 15.5% (234) 14.9% (303)	産みの親より育ての親
(7)年をとって子や孫がいなのは不幸なことだと思う	1 16.7% (253) 13.3% (271)	2 26.7% (404) 27.2% (556)	3 32.9% (498) 36.0% (736)	4 23.7% (358) 23.6% (482)	子や孫がいなくても幸福な老後はあると思う
(8)家を自分の代で途絶えさせてはいけないと思う	1 16.8% (254) 12.2% (249)	2 18.9% (286) 18.0% (369)	3 33.6% (509) 37.5% (766)	4 30.8% (467) 32.3% (661)	家が自分の代で途絶えるとしても、それはしかたのないことと思う
(9)医療技術の進歩は、人間にとって幸福よりも不幸をもたらしていると思う	1 4.5% (68) 3.0% (61)	2 15.3% (230) 17.9% (364)	3 47.4% (714) 51.0% (1039)	4 32.8% (493) 28.2% (574)	人間生活をより幸福なものにするためには、できる限り医療技術を発展させるべきだと思う

「生殖補助医療技術を理解するためのリーフレット」についてお聞きします。

Q2 (リーフレットあり) 生殖補助医療技術に関するリーフレットをお読みになって、記載されている内容が理解できましたか (〇はひとつ)。

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| 1. ほとんど理解できた (9割以上理解できた) | 21.1% (429) |
| 2. だいたい理解できた (6~8割程度理解できた) | 46.0% (938) |
| 3. まあまあ理解できた (半分程度理解できた) | 27.3% (556) |
| 4. あまり理解できなかった (3~4割程度理解できた) | 4.6% (93) |
| 5. ほとんど理解できなかった (2割以下の理解であった) | 1.0% (21) |

Q2 (リーフレットなし) 子どもがほしくてもできない夫婦に対して、妊娠、出産するための治療 (不妊治療) がなされ、さまざまな技術 (生殖補助医療技術) が開発されています。これらの技術をあなたは知っていますか。それぞれの技術につきひとつを選んでください (〇は1~3のうちひとつ)。

生殖補助医療技術	知っている	聞いたことはある	知らない
(1) 排卵日を特定して性交をおこなうこと (タイミング法)	1 71.7% (1087)	2 21.1% (319)	3 7.2% (109)
(2) 夫の精子を妻の子宮内に医学的な方法で注入すること (夫の精子を用いた人工授精: AIH)	1 71.7% (1093)	2 25.1% (383)	3 3.1% (48)
(3) 夫以外の精子を妻の子宮内に医学的な方法で注入すること (第三者の精子を用いた人工授精: AID)	1 59.1% (891)	2 32.7% (493)	3 8.2% (124)
(4) 妻の体から卵子を取り出し、それを体外で夫の精子と受精させ、その受精卵を妻の子宮内にもどすこと (夫婦間体外受精)	1 65.1% (985)	2 31.0% (469)	3 4.0% (60)
(5) 妻の体から卵子を取り出し、それを体外で夫以外の男性の精子と受精させ、その受精卵を妻の子宮内にもどすこと (第三者の精子を用いた体外受精)	1 48.6% (735)	2 37.0% (560)	3 14.4% (218)
(6) 妻以外の女性の体から卵子を取り出し、それを体外で夫の精子と受精させ、その受精卵を妻の子宮内にもどすこと (第三者の卵子を用いた体外受精)	1 43.6% (658)	2 38.1% (576)	3 18.3% (276)
(7) 第三者夫婦が不妊治療のために作成した受精卵を妻の子宮に入れること (第三者の受精卵 (胚) を用いた胚移植)	1 22.1% (334)	2 32.3% (487)	3 45.6% (688)
(8) 夫の精子を、妻とは別の女性の子宮内に医学的な方法で注入してその女性に妊娠・出産してもらうこと (代理母 (第三者の卵子と子宮を用いた代理懐胎))	1 54.8% (830)	2 36.5% (553)	3 8.7% (132)
(9) 夫婦の受精卵を妻とは別の女性に移植してその女性に妊娠・出産してもらうこと (借り腹 (第三者の子宮を用いた代理懐胎))	1 47.3% (715)	2 37.8% (571)	3 14.9% (225)

「第三者の精子を用いた人工授精（AID）」についてお聞きします。（リーフレット3頁の図1参照）
 一夫以外の男性の精子を妻の子宮内に医学的な方法で注入すること

精子	卵子	出産
第三者	妻	妻

Q3 あなたが子どもを望んでいるのになかなか子どもに恵まれないとしたら、あなたはこの技術を利用しようと思いますか（〇はひとつ）。

1. 利用したい	5.1% (77)	2.5% (51)
2. 配偶者が賛成したら利用したい	31.4% (472)	35.5% (730)
3. 配偶者が望んでも利用しない	63.5% (953)	62.1% (1278)

Q4 一般論としてお聞きします。夫の精子では妊娠できない夫婦がこのような技術を一定の条件（リーフレット5頁参照）のもとで使用すること社会的に認めるべきだと思いますか（〇はひとつ）。

1. 認めてよい	41.3% (627)	47.5% (979)
2. 認められない	22.6% (344)	19.5% (403)
3. わからない	36.1% (549)	33.0% (681)

「第三者の精子を用いた体外受精」についてお聞きします。(リーフレット3頁の図2参照)

—妻の体から卵子を取り出し、それを体外で夫以外の男性の精子と受精させ、その受精卵を妻の子宮にもどすこと—

精子	卵子	出産
第三者	妻	妻

Q5 あなたが子どもを望んでいるのになかなか子どもに恵まれないとしたら、あなたはこの技術を利用しようと思いますか(○はひとつ)。

1. 利用したい	3.9% (59)	3.1% (64)
2. 配偶者が賛成したら利用したい	27.9% (418)	32.4% (665)
3. 配偶者が望んでも利用しない	68.2% (1021)	64.5% (1325)

Q6 一般論としてお聞きします。このような技術を一定の条件(リーフレット5頁参照)のもとで社会的に認めるべきだと思いますか(○はひとつ)。

1. 認めてよい	38.2% (577)	44.0% (905) → Q8へ
2. 認められない	26.0% (393)	21.8% (449) → Q7へ
3. わからない	35.8% (540)	34.2% (703) → Q8へ

Q7 Q6で「2.認められない」とお答えになった方にお聞きします。

「認められない」と答えた理由は何ですか。いくつでも選んでください(○はいくつでも)。

1. 生まれてくる子どもの健康に害がある可能性があるから	18.8% (74)	22.0% (99)
2. 育ての父親と血がつながっていないから	39.4% (155)	40.1% (180)
3. 家族(親子)関係が不自然になると思うから	57.0% (224)	50.8% (228)
4. 親権や遺産相続などいろいろなトラブルが生じる可能性があるから	19.6% (77)	23.8% (107)
5. 妊娠はあくまで自然になされるべきだと思うから	70.2% (276)	63.9% (287)
6. 生まれた子どもが結婚する時、近親婚の可能性があるから	24.7% (97)	22.3% (100)
7. 商業的に利用されると思うから	28.0% (110)	29.6% (133)
8. 生まれてくる子どもに、第三者の精子を用いた体外受精で生まれたことを話すことができないから	37.2% (146)	38.8% (174)
9. 養子縁組等の子どもを持つ他の手段があるから	34.9% (137)	45.0% (202)
10. それ以外の理由()	7.4% (29)	9.1% (41)
11. わからない	0.5% (2)	0.7% (3)

「第三者の卵子を用いた体外受精」についてお聞きします。(リーフレット3頁の図3参照)

－妻以外の女性の体から卵子を取り出し、それを体外で夫の精子と受精させ、その受精卵を妻の子宮に入れること－

精子	卵子	出産
夫	第三者	妻

Q8 あなたが子どもを望んでいるのになかなか子どもに恵まれないとしたら、あなたはこの技術を利用しようと思いますか(○はひとつ)。

1. 利用したい	4.0% (58)	4.0% (81)
2. 配偶者が賛成したら利用したい	32.9 (481)	36.3% (734)
3. 配偶者が望んでも利用しない	63.2% (925)	59.7% (1209)

Q9 一般論としてお聞きします。妻の卵子では妊娠できない夫婦がこのような技術を一定の条件(リーフレット5頁参照)のもとで使用することを社会的に認めるべきだと思いますか(○はひとつ)。

1. 認めてよい	39.6% (596)	45.0% (923)	→Q11へ
2. 認められない	24.0% (362)	20.7% (424)	→Q10へ
3. わからない	36.4% (548)	34.3% (702)	→Q11へ

Q10 Q9で「社会的に認めない」とお答えになった方にお聞きします。

「社会的に認めない」と答えた理由は何ですか。いくつでも選んでください(○はいくつでも)。

1. 生まれてくる子どもの健康に害がある可能性があるから	18.0% (65)	21.7% (92)
2. 育ての母親と血が繋がっていないから	35.4% (128)	38.7% (164)
3. 家族(親子)関係が不自然になると思うから	55.0% (199)	51.7% (219)
4. 親権や遺産相続などいろいろなトラブルが生じる可能性があるから	18.5% (67)	20.3% (86)
5. 妊娠はあくまで自然になされるべきだと思うから	67.4% (244)	65.8% (279)
6. 生まれた子どもが結婚する時、近親婚の可能性があるから	21.6% (78)	21.9% (93)
7. 商業的に利用されると思うから	27.9% (101)	29.5% (125)
8. 生まれてくる子どもに、第三者の卵子を用いた体外受精で生まれたことを話すことができないから	36.5% (132)	35.9% (152)
9. 養子縁組等の子どもを持つ他の手段があるから	36.2% (131)	42.9% (182)
10. それ以外の理由()	6.1% (22)	8.3% (35)
11. わからない	0.8% (3)	0.7% (3)

Q11 卵子のシェアリング制度が考えられています。これは卵子の提供は原則として無償のボランティアによることを原則としますが、卵子の提供が少ないことが見込まれることから、他の体外受精を行っている女性から採取された卵子の一部を、医療費の一部を負担することによって、提供を受けるとい制度です(リーフレット6頁の図1参照)。この制度を一定の条件のもとで社会的に認めるべきだと思いますか(○はひとつ)。

1. 認めてよい	31.4% (444)	36.0% (711)
2. 認められない	23.6% (334)	24.1% (476)
3. わからない	45.1% (638)	39.8% (786)

「第三者の受精卵（胚）を用いた胚移植」についてお聞きします。（リーフレット3頁の図4参照）

－第三者夫婦が不妊治療のために作成した受精卵を、妻の子宮に入れること－

精子	卵子	出産
第三者	第三者	妻

Q12 あなたが子どもを望んでいるのになかなか子どもに恵まれないとしたら、あなたはこの技術を利用しようと思いますか（○はひとつ）。

1. 利用したい	3.1% (47)	2.5% (51)
2. 配偶者が賛成したら利用したい	18.7% (281)	20.7% (423)
3. 配偶者が望んでも利用しない	78.1% (1173)	76.8% (1565)

Q13 一般論としてお聞きします。夫の精子と妻の卵子によって妊娠できない夫婦がこのような技術を一定の条件（リーフレット5頁参照）のもとで使用することを社会的に認めるべきだと思いますか（○はひとつ）。

1. 認めてよい	28.3% (429)	30.6% (627)	→Q15へ
2. 認められない	34.9% (529)	34.8% (713)	→Q14へ
3. わからない	36.8% (557)	34.5% (707)	→Q15へ

Q14 Q13で「2.認められない」と、お答えになった方にお聞きします。

「認められない」と答えた理由は何ですか。いくつでも選んでください（○はいくつでも）。

1. 生まれてくる子どもの健康（体や心）に害がある可能性があるから	25.9% (137)	25.3% (180)
2. 育ての両親と血がつながってないから	37.6% (199)	41.6% (297)
3. 家族（親子）関係が不自然になると思うから	50.7% (268)	49.1% (350)
4. 親権や遺産相続などいろいろなトラブルが生じる可能性があるから	20.4% (108)	22.3% (159)
5. 妊娠はあくまで自然になされるべきだと思うから	54.6% (289)	47.6% (339)
6. 生まれた子どもが結婚する時、近親婚の可能性があるから	22.3% (118)	20.8% (148)
7. 商業的に利用されると思うから	29.7% (157)	31.0% (221)
8. 生まれてくる子どもに、第三者の受精卵（胚）を用いた胚移植で生まれたことを話すことができないから	35.2% (186)	35.3% (252)
9. 養子縁組等の子どもを持つ他の手段があるから	39.9% (211)	45.2% (322)
10. それ以外の理由（ ）	6.1% (32)	7.0% (50)
11. わからない	0.8% (4)	1.3% (9)

Q15 卵子を提供されることだけで妊娠できる状態にある夫婦が、提供される卵子が少ないために提供を受けることができず、やむを得ず、受精卵（胚）の提供を受けることを、一定の条件（リーフレット5頁参照）のもとで社会的に認めるべきであると思いますか（○はひとつ）。

1. 認めてよい	31.7% (437)	34.6% (672)
2. 認められない	23.6% (325)	25.8% (501)
3. わからない	44.8% (618)	39.7% (771)

「代理母（第三者の卵子と子宮を用いた代理懐胎）」についてお聞きします。（リーフレット3頁の図5参照）

－夫の精子を妻以外の女性の子宮に医学的な方法で注入してその女性に妊娠・出産してもらう－

精子	卵子	出産
夫	第三者	第三者

Q16 あなたが子どもを望んでいるのになかなか子どもに恵まれないとしたら、あなたはこの技術を利用しようと思いますか（○はひとつ）。

1. 利用したい	3.3% (50)	2.8% (56)
2. 配偶者が賛成したら利用したい	21.6% (323)	20.2% (411)
3. 配偶者が望んでも利用しない	75.0% (1120)	77.0% (1567)

Q17 一般論としてお聞きします。妻の卵子と子宮の状態では妊娠できない夫婦がこのような技術を一定の条件（リーフレット5頁参照）のもとで使用することを社会的に認めるべきだと思いますか（○はひとつ）。

1. 認めてよい	31.0% (467)	29.3% (599)	→Q18へ
2. 認められない	32.2% (486)	35.7% (728)	→Q19へ
3. わからない	36.8% (555)	35.0% (714)	→Q20へ

Q18 Q17で「1.認めてよい」とお答えになった方にお聞きします。

「認めてよい」と答えた理由は何ですか。いくつでも選んで下さい（○はいくつでも）。

1. 病気などで体が弱くて子どもを産めない人が子どもをもてる可能性があるから	77.7% (363)	83.3% (499)
2. 病気や事故により子宮を摘出した女性が子どもをもてる可能性があるから	84.4% (394)	85.6% (513)
3. 高齢者が子どもをもてる可能性があるから	27.0% (126)	21.0% (126)
4. 妊娠、出産を仕事などの都合でできない女性が子どもをもてる可能性があるから	11.1% (52)	9.0% (54)
5. 同性のカップルが子どもをもてる可能性があるから	9.0% (42)	8.0% (48)
6. 独身者が子どもをもてる可能性があるから	6.9% (32)	5.2% (31)
7. 依頼者と代理懐胎をする双方が承諾した上でのことだから	42.4% (198)	43.1% (258)
8. その他（ ）	3.2% (15)	3.2% (19)

→Q20に進んでください。

「借り腹（第三者の子宮を用いた代理懐胎）」についてお聞きします。（リーフレット3頁の図6参照）
 —夫婦の精子と卵子による受精卵（胚）を妻以外の女性の子宮に入れてその女性に妊娠・出産してもらう—

精子	卵子	出産
夫	妻	第三者

Q20 あなたが子どもを望んでいるのになかなか子どもに恵まれないとしたら、あなたはこの技術を利用しようと思いますか（○はひとつ）。

1. 利用したい	8.6% (129)	7.4% (149)
2. 配偶者が賛成したら利用したい	34.7% (519)	32.3% (653)
3. 配偶者が望んでも利用しない	56.7% (847)	60.3% (1218)

Q21 一般論としてお聞きします。妻の子宮の状態では妊娠できない夫婦がこのような技術を使用することを社会的に認めるべきだと思いますか（○はひとつ）。

1. 認めてよい	45.8% (693)	43.2% (882)	→Q22 へ
2. 認められない	22.0% (333)	25.3% (516)	→Q23 へ
3. わからない	32.2% (488)	31.5% (644)	→Q24 へ

Q22 Q21で「1.認めてよい」とお答えになった方にお聞きします。

「認めてよい」と答えた理由は何ですか。いくつでも選んで下さい（○はいくつでも）。

1. 病気などで体が弱くて子どもを産めない人が子どもをもてる可能性があるから	83.0% (575)	84.5% (745)
2. 病気や事故により子宮を摘出した女性が子どもをもてる可能性があるから	87.6% (607)	88.0% (776)
3. 高齢者が子どもをもてる可能性があるから	24.0% (166)	20.3% (179)
4. 妊娠、出産を仕事などの都合でできない女性が子どもをもてる可能性があるから	9.8% (68)	7.7% (68)
5. 独身者が子どもをもてる可能性があるから	4.3% (30)	2.6% (23)
6. 依頼者と代理懐胎をする双方が承諾した上でのことだから	42.7% (296)	41.0% (362)
7. その他（ ）	3.2% (22)	3.3% (29)

→ Q24 に進んで下さい。